|  |  |
| --- | --- |
| 情報活用能力　小中学校９年間のカリキュラム | 飯能市立奥武蔵中学校　令和3年8月23日作成　 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 小学校 | 中学校 |
|  | １年生 | ２年生 | ３年生 | ４年生 | ５年生 | ６年生 | １学年 | ２学年 | ３学年 |
| 知識及び技能 | ・文字の入力ができる・カメラ機能を使って写真を撮ることができる・ＴＶ画面に投影することができる。 | ・１分間に10字程度のローマ字入力ができる。・動画の撮影ができる。・動画の再生スピードを変えることができる。・新規フォルダの作成や、フォルダの名前を変更することができる。・簡単なアンケートをつくることができる。・文字や図形をかくことができる。・コピー＆ペーストができる。 | ・１分間に30字程度のローマ字入力ができる。・表計算ソフトで簡単なグラフが作れる。・資料箱に必要なファイルを保存したり、取り出したりすることができる。 | ・１分間に50字程度のローマ字入力ができる。・表計算ソフトでグラフや数式を入力することができる。・ファイルを分類してフォルダに保存したり、活用したりできる。 | ・１分間に80字程度のローマ字入力ができる。・表計算ソフトやアンケート機能を使って学級活動や委員会活動等に活用することができる。・ファイルやフォルダを共有して、互いに活用することができる。 |
| 思考力・判断力・表現力 | ・インターネット検索を活用して情報を収集することができる。・カメラや音声の録音を使って、身近な情報を収集することができる。・簡単なシンキングツール（ベン図等）を使って、同じ所や違う所を整理することができる。・写真や複数のカードを並び替えて簡単な説明をすることができる。・ライト、モーター、ブザーを組み合わせて順番に作動させることができる。 | ・インターネットで検索した情報から必要な情報を選ぶことができる。・シンキングツールを使って、比較・分類し、情報の特徴や傾向から自分の考えを持つことができる。・線を入れたり、色を付けたりして、自分が大事だと思うことを発表することができる。・相手や目的を意識した表現方法で簡単なプレゼンテーションをすることができる。・テンポと音程を変えて繰り返しを含んだ簡単な音楽をつくることができる。・自分で意図したことを試行錯誤して、表現することができる。 | ・録音した音声や動画の編集ができる。・必要や目的に応じてアンケート等をつくったり、シンキングツールを使うことができる。・ペアやグループで協力してプレゼンテーションをすることができる。・インターネット上の共有フォルダに個人のフォルダを作成し、必要なファイルを保存することができる。・課題設定・情報収集・整理分析・まとめの４段階でプレゼンテーションを作成することができる。・光・温度センサー等を使って自分が意図したプログラムを作ることができる。・プログラミング学習を連携させて課題に取り組むことができる。 | ・録音した音声や動画を編集し、発信することができる。・必要や目的に応じてアンケート等をつくったり、シンキングツールを使い個人の考えをまとめることができる。・得た情報を適切に比較したり、分類したりして学習に活用することができる。・情報を整理して、見やすく、わかりやすくすることができる。・道筋を立てた表現ができる。・調べた内容を精査したり、画像を加工したりして、見やすくわかりやすいプレゼンテーション資料を作成することができる。・相手のことを考えたプレゼンテーションをすることができる。 | ・編集した音声や動画を、比較検討するができる。・必要や目的に応じてアンケート等をつくったり、シンキングツールを使い、他者の意見と比較検討することができる。・情報を整理して、見やすく、わかりやすい発表をすることができる。・論理的な表現ができる。・表計算ソフトで、効率的なプログラムを考え、表現することができる。・画像を加工したり、引用した言葉だけでなく、自身の言葉で相手がわかりやすいプレゼンテーション資料を作成することができる。・調べた内容だけでなく、自身の活動や思い等を含めたプレゼンテーションをすることができる。 |
| 学びに向かう力、人間性 | ・時間を決めて使用することができる。・写真を撮るとき音声を録音するときには許可を得ることができる。 | ・相手のことを考えたやり取りができる。・個人情報についての扱いに注意することができる。・画面から顔を離し、姿勢に気を付けて使用することができる。 | ・セキュリティ－の必要性を理解することができる。・パスワードの必要性を理解することができる。・視力の低下等の健康面に配慮した使用ができる。 | ・個人情報について理解し、適切な行動をとることができる。・著作権について理解することができる。・使用時間、使用場所等のルールを守ることができる。 | ・インターネットトラブルとその対処法について理解し、適切な行動をとることができる。・インターネット上の情報の信頼性を判断するとともに、自分自身の考えを持つことができる。・著作権等を配慮した情報の取り扱いができる。・使用時間、使用場所等のルールを自分で考え、守ることができる。 |